

殺処分ゼロ目指し「いのちつないだワンニャン展」



スーム大阪

こちらにち販売課

中央区



殺処分を逃れた犬や猫が幸せに暮らす様子を収めた作品を展示する「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト2019入賞作品展」が17日から3日間、本町ガーデンシティ(中央区本町3丁目)で開かれた。救われた犬と猫の愛らしい写真や動画に、来場者は心打たれていた。

毎年、約2千人が訪れる写真展で「どつぶつ基金」(兵庫県芦屋市)が主催。



命をつないだ犬や猫の写真が展示された会場

個人で猫を保護し、里親を見つけて活動をしている大阪市内の八木理江さん(55)は「保護する時は傷だらけだけれど、生き生きと去勢手術を行い、その印とした猫の写真を見て大事にして耳先を桜の花びらのようにV字カットし「さくらねこ」として戻す活動をしている。

同基金は殺処分ゼロを目指し、無料で犬や猫の不妊・去勢手術を行い、その印とした猫の写真を見て大事にして耳先を桜の花びらのようにV字カットし「さくらねこ」として戻す活動をしている。

同基金の佐上邦久理事長(59)は「買わずに飼ってね」をキャッチフレーズに処分されていたかもしれない小さな命を救い、共に生きることを素晴らしいことを多くの人に知ってもらおうと企画。今回で10回の節目となる。千点以上の応募作品の中から選ばれた入賞作品など、約30点を展示した。

会場では、環境大臣賞や大阪府知事賞などの入賞作品を使ったカレンダーのほか、Tシャツやタオルなどのチャリティグッズも販売。収益金はすべて同基金の殺処分ゼロのための活動に使われる。

このコーナーへの情報提供をお待ちしています。電話06(6454)7057、大阪日日新聞販売課までお寄せください。

(大島清孝)